

令和2年8月4日(火)に串良平和アリーナにて「小学校教諭等体育セミナー」を開催し、体育授業の指導法について研修しました。

1 対象者

小学校、義務教育学校(前期課程)、特別支援学校小学部の女性教諭等

2 内容

(1) 講義

「学校でなぜ体育を学ぶの?—体育は何を学ぶ教科なのか—」

東京女子体育大学 末永 祐介 准教授

(2) 実技

ボール運動系(「ゲーム」「ボール運動」)

ア ボール操作について

イ ボールを持たないときの動き(「サークルボール」)

サークルボールの主なルール

- ・ゲームは攻撃3名、守備2名で行う
- ・ゲーム時間は60秒間(3回の表裏まで行う)
- ・ゲームはパスのみ(ドリブルと保持したまま動くことは禁止)
- ・サークルにいる味方にパスが通ったら得点
- ・サークルからサークルへの直接のシュートは無効
- ・同じサークルに連続してシュートしても得点にはならない
- ・得点しても時間内は攻撃を続ける(時間内に何点入るか)
- ・守備にボールが取られたり、外に出た場合はスタートラインからリスタートする

ゴール型

ボールを持たない動きを中核とした学習
→ ドリブルを採用しない

ドリブル: 技能習得が困難
ボールを独占してしまう(1人で完結)

「空いたスペースに走れ!」→ 空いたスペース??
= スペースをわかりやすくする工夫

サークルボール

ボールを受ける動き(ボールを持たないときの動き)がそのまま得点につながるゲーム
↓
何度も意欲的にボールを受ける動きが学習できる

直径約2m

ボール運動の授業 = 枠組の時間が多 ⇒ 支援的学習に従事させる工夫

チームを分ける工夫

Aチーム

兄(姉)チーム

弟(妹)チーム

- ・兄チームが試合をしているときには弟チームはスコアをつける。
- ・両チームの合計ポイントがAチームの獲得ポイントになる。

ゲームパフォーマンスに着目させる工夫

簡易スコア					ゲーム心電図	
名前	パス	シュート	ドリブル	成功率	名前	
A子	○XX	XXX	XO	25% (2/8)	A子	
B男	XO	OO	XXX	43% (3/7)	B男	
C美	X	OX	X	25% (1/4)	C美	

成功:○,失敗:×

パス:実線,ドリブル:波線
シュート:S,成功:○,失敗:×



3 研究協議

○ テーマ「体育の授業について」

ア ボール運動系の領域の指導について

イ 体育授業全般について

- ・教材研究の行い方
- ・1 単位時間の学習過程
- ・体育学習のしつけ
- ・評価の行い方 等